

7.1. 水源地域の概況

7.1.1. 水源地域の概要

室生ダムが位置する宇陀川流域は、「国宝宇太水分神社」、「女人高野の室生寺」をはじめとする名所・旧跡・文化財などの豊富な歴史・景観的資源や自然資源に恵まれている。

室生ダム貯水池の周辺には、室生赤目青山国定公園、東海自然歩道も周囲に設定されている豊かな自然のある風向明媚な地域であり、行楽・観光に訪れる人々も多い。

さらに、記紀にも地名が登場するなど、古い歴史を刻んでおり、特に大和と伊勢を結ぶ東西交通の要衝の地であったことから、伊勢参詣の宿場町として栄えてきた。

一方、上流域沿川は古くから農地開発が進み、また、近年では大阪都市圏のベッドタウンとしての宅地開発も行われている。

室生ダム貯水池の周辺は、豊かな自然、歴史的な文化遺産、新興ニュータウンなど、良質な伝統と現代的な新しい要素を兼ね備えた地域となっている。

流域内では新たな宅地開発等が進み、貯水池への生活排水と農地から栄養塩等の流入があるが、現在、上流域では宇陀川流域下水道事業を実施中で、汚水整備率は68.3%(平成20年度末)、公共下水道の水洗化率(水洗化人口/行政人口)は56.8%となっている。

なお、室生ダムの水源地域は平成17年までは、大宇陀町、菟田野町、榛原町、室生村(ともに奈良県)の4町村からなっていたが、この4町村が合併し、平成18年1月1日に「宇陀市」が新規に誕生した。これに伴い、室生ダムの水源地域は「宇陀市」1市となった。

ここでは、対象市町村を宇陀市並びに旧水源地域である「旧大宇陀町」「旧菟田野町」「旧榛原町」「旧室生村」について整理する。

(1)流域の状況

室生ダムの流域は奈良県中北部に位置し、合併によって室生ダム貯水池は全て宇陀市に位置する。合併以前ではダム堤体付近は旧室生村、貯水池の多くは旧榛原町であった。

流域市町村の行政面積及び室生ダム流域面積を表 7.1.1-1 に示す。

ダムサイトおよび貯水池下流部は旧室生村に、また貯水池の上流部は旧榛原町となっている。流域に含まれる市町村は、旧榛原町、旧菟田野町、旧大宇陀町、旧室生村である。

表 7.1.1-1 室生ダム流域関連市町村の面積

	市町村 面積(a) (km ²)	室生ダム流域面積(b)		b/a (%)
		直接	間接	
		(km ²)		
旧大宇陀町	47.44	38.21	-	80.5
旧菟田野町	27.78	27.77	-	100.0
旧榛原町	64.41	61.57	-	95.6
旧室生村	107.99	8.45	33.0	7.8(30.6)
合計	247.62	136.0	33.0	
		169.0		

室生ダム流域面積は公称値。

旧室生村は、平成 18 年 1 月 1 日に旧大宇陀町、旧菟田野町、旧榛原町と合併し、「宇陀市」となった。現宇陀市の面積は 247.62km² である。

【資料：国土交通省国土地理院「平成17年全国都道府県市区町村別面積調」】

(2)人口・世帯数の推移

室生ダムの水源地域は、室生村、榛原町、菟田野町、大宇陀町(ともに奈良県)の4町村が平成18年1月1日に合併し「宇陀市」が新規に誕生した。これに伴い、室生ダムの水源地域は「宇陀市」1市となり、旧4町村及び合併後の人口動態は表7.1.1-2、図7.1.1-1のとおりである。

旧室生村、旧菟田野町、旧大宇陀町の人口はやや減少傾向であるが、旧榛原町の人口は横ばい傾向であり、合併後はほぼ横ばい傾向である。一方、合併前の各町村の世帯数は緩やかに増加していたが、合併に伴って増加したが、その後は横ばい状況である。

ダム建設前後の人口及び世帯数の変化は、人口はダム建設直後の昭和50年までは減少傾向にあったが、昭和50年を境に人口は平成2年頃まで緩やかに増加し約42,000人となったが、平成7年以降は減少傾向となり、現在は約37,000人である。合併以前では旧榛原町の人口・世帯数が最も多く、流域の約50%程度を占めている。次いで、旧大宇陀町、旧室生村、旧菟田野町の順である。世帯数は、昭和50年の約9,120世帯が合併直前の平成17年には約11,690世帯、平成20年には約13,200世帯と人口の減少とは反対に世帯数が増加している。なお、世帯数はH2～H18の間に増加傾向が認められるものの、その後は横ばい傾向を示している。

次に、年齢構成の経年変化を図7.1.1-1に示す。図7.1.1-2より、平成7年以降に特に65歳以上、次いで50歳以上の人口の増加しており、若年層の20歳前後の人口が減ってきている。当該水源地域においても、少子高齢化現象が起きている。

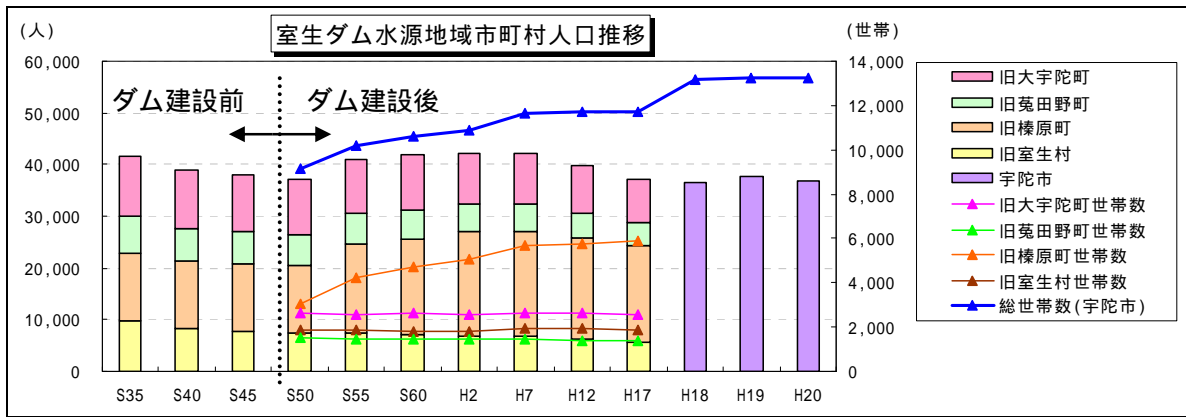
表7.1.1-2 室生ダム水源地域旧3町1村及び、宇陀市の人口・世帯数推移

単位:人(世帯)

水源地域人口	S35	S40	S45	S50	S55	S60	H2	H7	H12	H17	H18	H19	H20
宇陀市 (世帯数)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	36,666 (13,201)	37,595 (13,204)	36,912 (13,203)
旧室生村 (世帯数)	9,721 (-)	8,426 (-)	7,739 (-)	7,562 (1,901)	7,404 (1,867)	7,138 (1,833)	6,869 (1,805)	6,809 (1,908)	6,306 (1,909)	5,786 (1,859)	-	-	-
旧榛原町 (世帯数)	13,093 (-)	12,873 (-)	12,950 (-)	12,846 (3,054)	17,210 (4,249)	18,512 (4,710)	20,230 (5,082)	20,230 (5,671)	19,438 (5,784)	18,549 (5,883)	-	-	-
旧菟田野町 (世帯数)	7,330 (-)	6,392 (-)	6,344 (-)	6,032 (1,505)	5,849 (1,472)	5,683 (1,426)	5,284 (1,432)	5,284 (1,426)	4,914 (1,395)	4,623 (1,392)	-	-	-
旧大宇陀町 (世帯数)	11,584 (-)	11,221 (-)	10,930 (-)	10,829 (2,658)	10,638 (2,591)	10,541 (2,611)	9,712 (2,560)	9,712 (2,609)	9,104 (2,611)	8,225 (2,552)	-	-	-
計	41,728 (-)	38,912 (-)	37,963 (-)	37,269 (9,118)	41,101 (10,179)	41,874 (10,580)	42,095 (10,879)	42,035 (11,614)	39,762 (11,699)	37,183 (11,686)	36,666 (13,201)	37,595 (13,204)	36,912 (13,203)

水源地域関連町村の行政人口

【出典:国勢調査】



上記人口は、流域に含まれる旧市町村の各自治体の総人口である。

【出典：国勢調査】

図 7.1.1-1 室生ダム水源地域旧3町1村及び、宇陀市の人口・世帯数推移

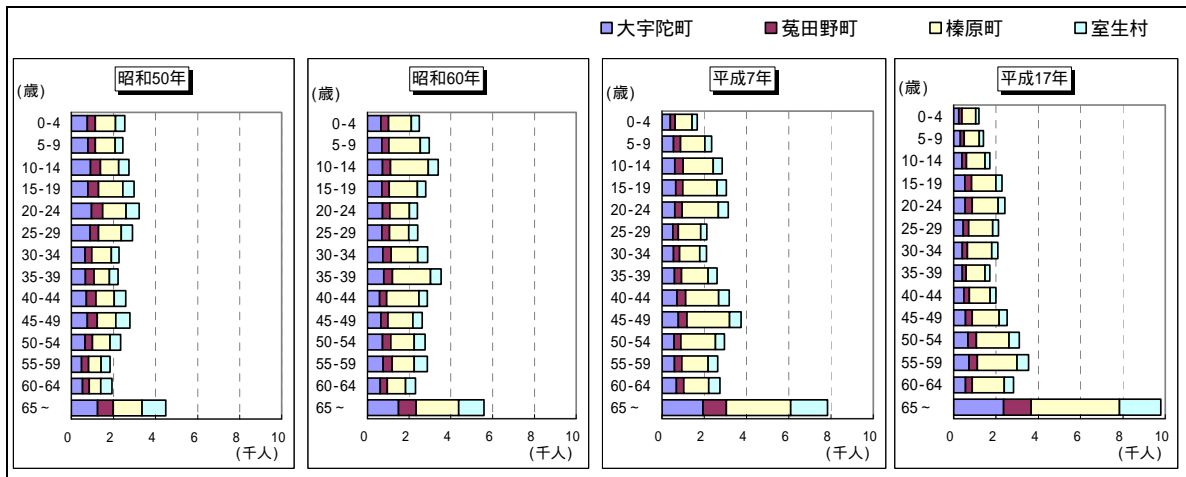


図 7.1.1-2 室生ダム水源地域旧3町1村の人口・年齢別推移

(3)産業別就業者数

室生ダム水源地域市町村における産業別就業者数の近年の推移を、表7.1.1-3、図7.1.1-3に示す。なお。市町村合併により平成18年1月1日に宇陀市となっている。

就業者の経年変化をみると第三次産業が多く、人口の減少に伴って緩やかに減少する傾向にある。一方、第一次、第二次は減少傾向にあり、特に第一次産業の割合は昭和60年から平成2年かけて急激な減少がみられその後緩やかな減少となっている。

表7.1.1-3 室生ダム流域内における就業者数推移(S50～H17)

労働力人口(人)

	S50 (1975)	S55 (1980)	S60 (1985)	H2 (1990)	H7 (1995)	H12 (2000)	H17 (2005)
宇陀市							
(旧)大宇陀町	5,175	5,248	5,038	4,912	4,856	4,473	4,281
(旧)菟田野町	3,045	2,950	2,830	2,719	2,515	2,383	2,275
(旧)榛原町	5,740	7,746	8,291	8,699	9,701	9,585	9,065
(旧)室生村	4,075	3,800	3,646	3,371	3,444	3,058	2,806
計	18,035	19,744	19,805	19,701	20,516	19,499	18,427

第1次産業就業者数(人)

	S50 (1975)	S55 (1980)	S60 (1985)	H2 (1990)	H7 (1995)	H12 (2000)	H17 (2005)
宇陀市							
(旧)大宇陀町	1,570	1,149	928	699	623	526	540
(旧)菟田野町	720	510	447	343	301	233	232
(旧)榛原町	1,200	1,177	1,046	773	681	671	591
(旧)室生村	1,385	957	809	567	532	346	369
計	4,875	3,793	3,230	2,382	2,137	1,776	1,732

第2次産業就業者数(人)

	S50 (1975)	S55 (1980)	S60 (1985)	H2 (1990)	H7 (1995)	H12 (2000)	H17 (2005)
宇陀市							
(旧)大宇陀町	1,505	1,542	1,551	1,604	1,553	1,395	1,070
(旧)菟田野町	1,065	1,067	1,046	1,053	925	815	611
(旧)榛原町	1,685	2,173	2,279	2,433	2,500	2,247	1,865
(旧)室生村	875	903	927	879	876	814	702
計	5,130	5,685	5,803	5,969	5,854	5,271	4,248

第3次産業就業者数(人)

	S50 (1975)	S55 (1980)	S60 (1985)	H2 (1990)	H7 (1995)	H12 (2000)	H17 (2005)
宇陀市							
(旧)大宇陀町	2,040	2,377	2,351	2,445	2,408	2,272	2,243
(旧)菟田野町	1,230	1,330	1,274	1,258	1,205	1,205	1,259
(旧)榛原町	2,840	4,256	4,782	5,269	6,195	6,056	5,985
(旧)室生村	1,810	1,858	1,819	1,774	1,889	1,698	1,551
計	7,920	9,821	10,226	10,746	11,697	11,231	11,038

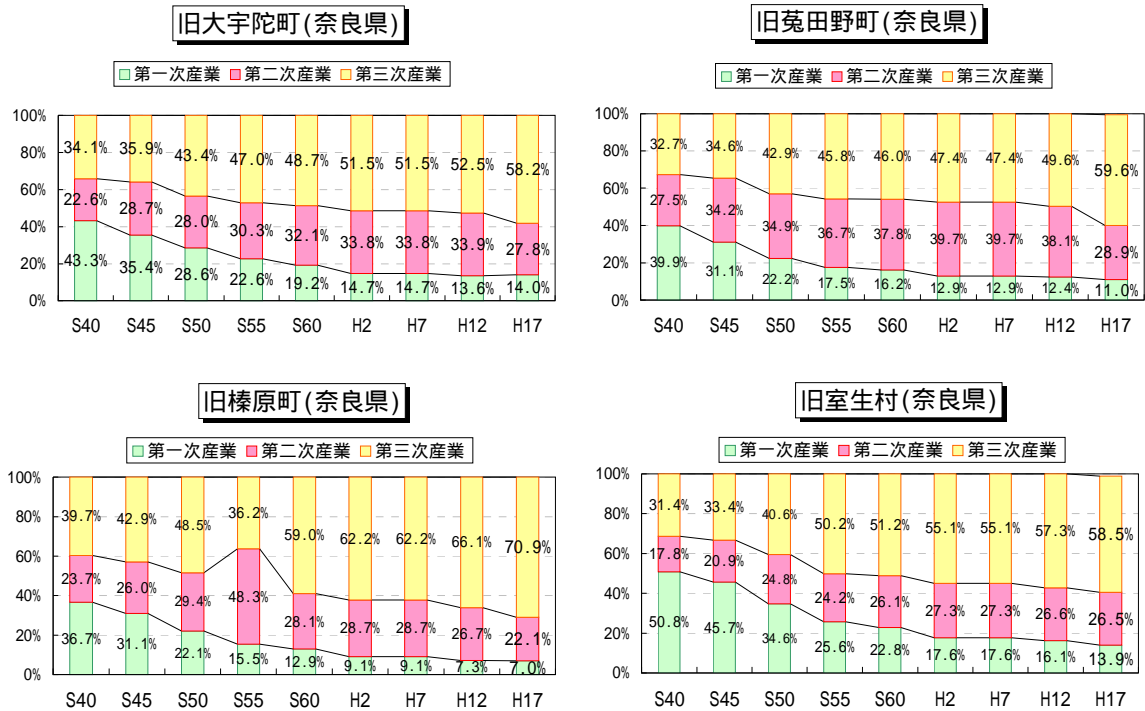


図 7.1.1-3 室生ダム流域市町村の産業就業者比率の推移(S40～H17)

(4)土地利用と産業

室生ダム流域関連各市町村(流域外を含む)の近年4ヶ年の土地利用状況を表7.1.1-4、土地利用状況図を図7.1.1-4に示す。流域の大部分は林野であり、田、畑が点在し、開けた河川沿川に市街地が広がっている。また、複数のゴルフ場もある。

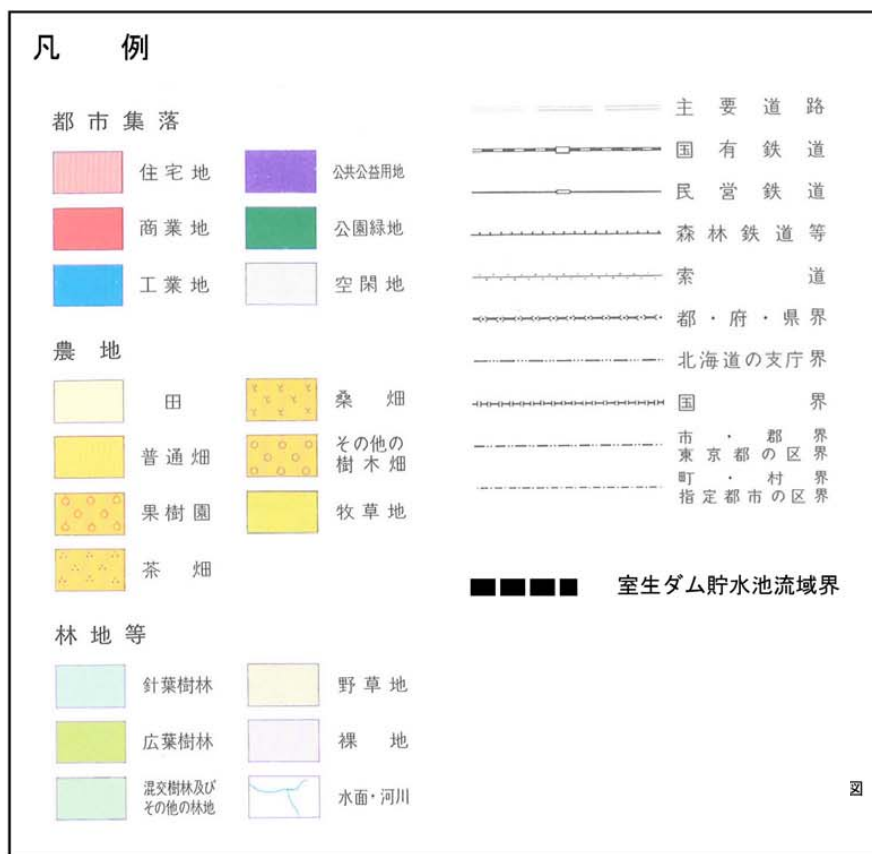
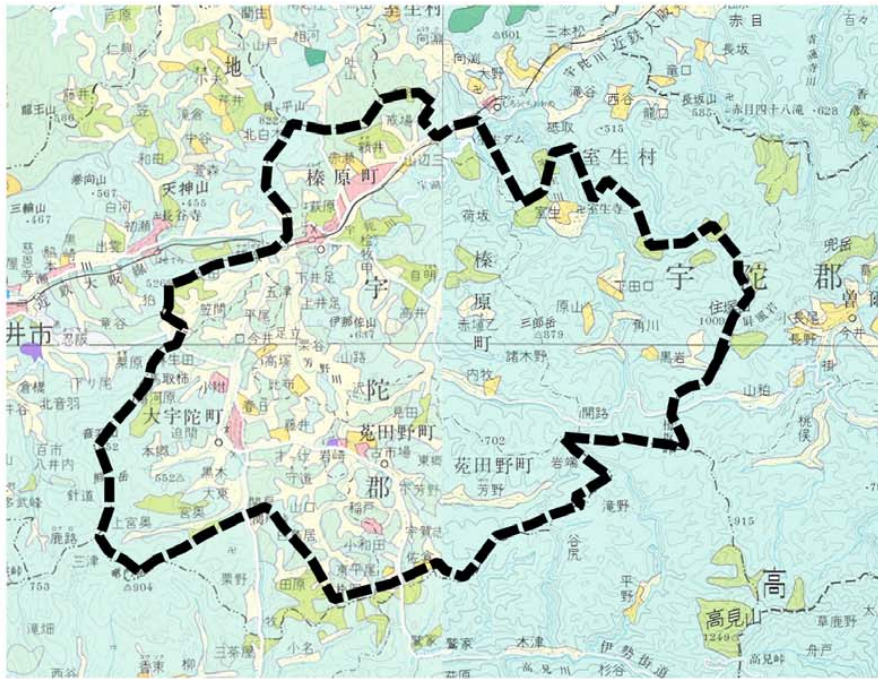
表 7.1.1-4 室生ダム流域市町村(流域外を含む)の土地利用状況

単位:ha

	行政面積 (km ²)	田	畑		宅地	池沼	林野	原野	雑種地			計	その他
			茶畑						ゴルフ場	鉄軌道用地	その他		
H17	247.62	1,770	921	35	494	49	18,275	208	210	30	115	356	2,690
旧大宇陀町	47.44	591	325	-	118	2	2,996	47	61	-	29	91	576
旧菟田野町	27.78	237	152	0	69	-	1,986	27	-	-	16	16	290
旧榛原町	64.41	503	232	-	218	47	4,596	68	12	14	51	77	700
旧室生村	107.99	439	212	35	89	0	8,697	66	137	15	19	172	1,124
H18	247.62	1,764	916	34	496	49	18,275	214	211	30	116	357	2,691
H19	247.62	1,761	915	33	498	49	18,275	218	211	32	117	357	2,689
H20	247.62	1,758	913	-	500	49	9,392	219	211	30	120	360	-

(茶畑):畑地面積の中に含まれる

【平成17、18、19、20年度奈良県統計年鑑】



【出典：国土数値情報(土地利用)データ;昭和58年整備】

図 7.1.1-4 室生ダム流域内の土地利用状況

次に、流域関連市町村の用途別土地利用状況の経年変化を、表 7.1.1-6、図 7.1.1-5～図 7.1.1-6に示す。

表 7.1.1-6より、室生ダム流域関連市町村の土地利用状況は、田畑の農耕地が減少し、宅地が増加している。また、雑種地のゴルフ場が昭和 50 年以降急激に増加し、近年 2,100ha程度で横ばい状況である。山林・原野は、斬増斬減を繰り返し、近年は減少傾向である。

表 7.1.1-5 旧室生村、旧榛原町、旧菟田野町、旧大宇陀町の土地利用状況
(昭和 40 年・平成 17 年)

単位:ha

土地利用	旧大宇陀町		旧菟田野町		旧榛原町		旧室生村	
	昭和40年	平成17年	昭和40年	平成17年	昭和40年	平成17年	昭和40年	平成17年
田	675.0	590.8	309.2	236.8	694.5	503.4	473.8	438.6
畑	324.8	325.4	156.1	151.9	252.1	232.3	215.1	212.0
宅地	73.7	118.2	34.5	68.9	75.1	218.3	51.5	89.4
池沼	-	1.5	-	-	-	47.3	-	0.2
山林	1477.8	2996.0	1062.7	1986.0	2266.2	4596.0	3313.1	8697.0
原野	23.5	46.5	17.3	27.2	47.8	68.3	50.4	66.4
ゴルフ場	-	61.3	-	-	-	12.2	-	137.3
鉄軌道用地	-	-	-	-	11.5	14.2	17.0	15.7
その他	1.6	29.2	11.8	15.5	-	50.7	-	19.0
総面積	2578.0	4168.9	1591.6	2486.3	3347.2	5742.7	4120.9	9675.6

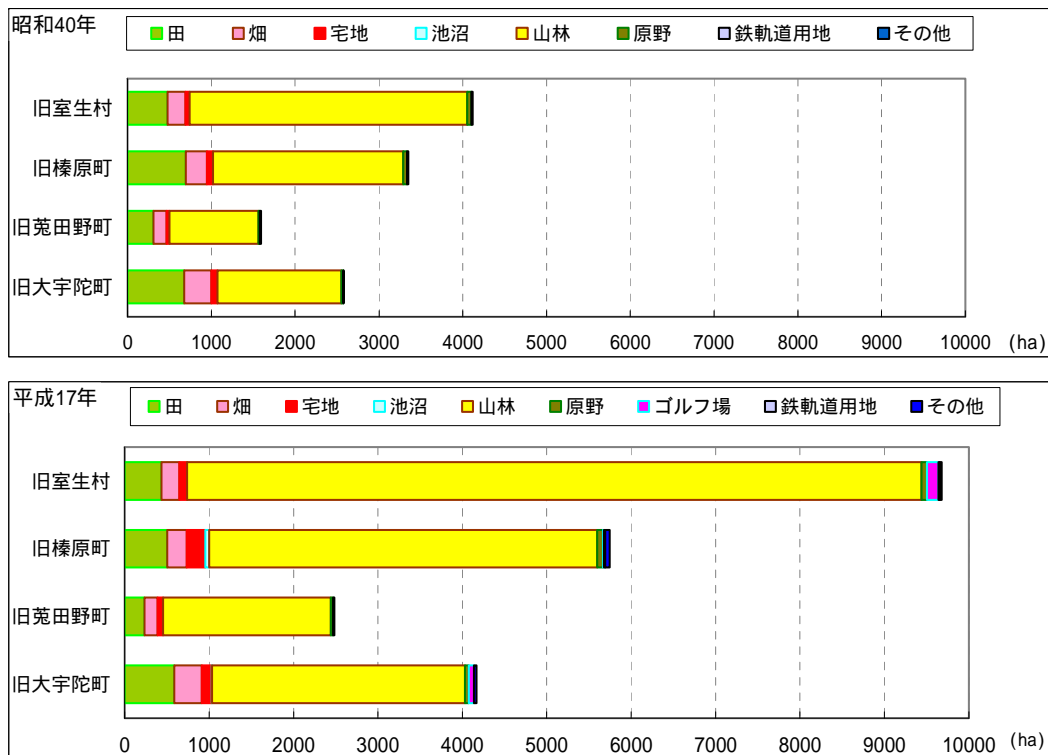
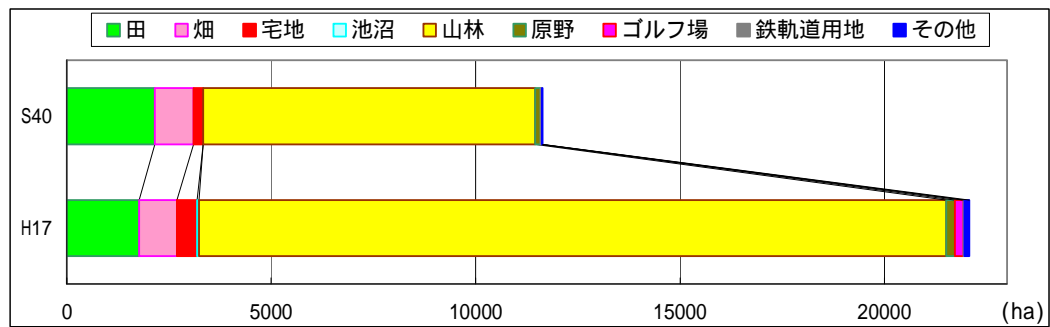


図 7.1.1-5 旧室生村、旧榛原町、旧菟田野町、旧大宇陀町土地利用状況
(昭和 40 年・平成 17 年)



(ha)	田	畑	宅地	池沼	山林	原野	ゴルフ場	鉄軌道用地	その他	総面積
昭和40年	2152.5	948.1	234.8	-	8119.8	139	-	28.5	13.4	11637.7
平成17年	1769.6	921.6	494.8	49	18275	208.4	210.8	29.9	114.4	22073.5

上記数値は、流域のみの数値でなく流域に含まれる旧市町村の総数値である。

【出典:統計年鑑】

図 7.1.1-6 室生ダム流域内の用途別土地利用状況(昭和40年・平成17年)

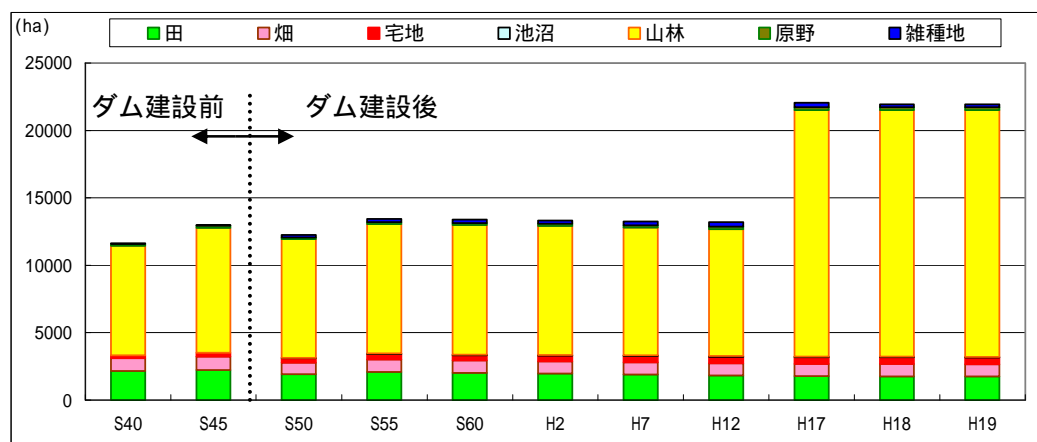
表 7.1.1-6 室生ダム流域内土地利用状況の推移

単位: ha

名称	総面積	田	畑	宅地	池沼	山林	原野	雑種地			計
								ゴルフ場	鉄軌道用地	雑種地その他	
S40	116.4	2152.5	948.1	234.8	-	8119.8	139.0	-	28.5	13.4	41.9
S45	129.9	2219.0	1011.6	278.9	1.1	9272.0	159.0	-	30.1	16.1	46.2
S50	122.5	1929.0	848.3	318.9	43.9	8796.9	135.6	93.3	30.7	49.6	173.6
S55	134.5	2085.8	933.7	396.2	47.0	9598.1	139.3	168.1	32.0	51.7	251.8
S60	134.0	2027.1	899.9	409.2	47.1	9593.7	148.6	165.5	32.0	75.1	272.6
H2	133.3	1965.2	902.0	438.7	47.8	9564.1	154.5	166.0	32.0	62.0	260.0
H7	132.5	1906.2	893.1	465.5	48.9	9488.9	163.8	166.0	30.5	82.4	278.9
H12	132.2	1828.3	913.6	481.3	49.0	9409.4	187.3	213.2	30.4	104.4	348.0
H17	220.7	1769.6	921.6	494.8	49.0	18275.0	208.4	210.8	29.9	114.4	355.1
H18	22073.5	1764.0	916.0	496.0	49.0	18275.0	214.0	211.0	30.0	116.0	357.0
H19	22073.5	1761.0	915.0	498.0	49.0	18275.0	218.0	211.0	32.0	117.0	357.0

上記数値は、流域のみの数値でなく流域に含まれる旧市町村の総数値である。

【出典:統計年鑑】



上記数値は、流域のみの数値でなく流域に含まれる旧市町村の総数値である。

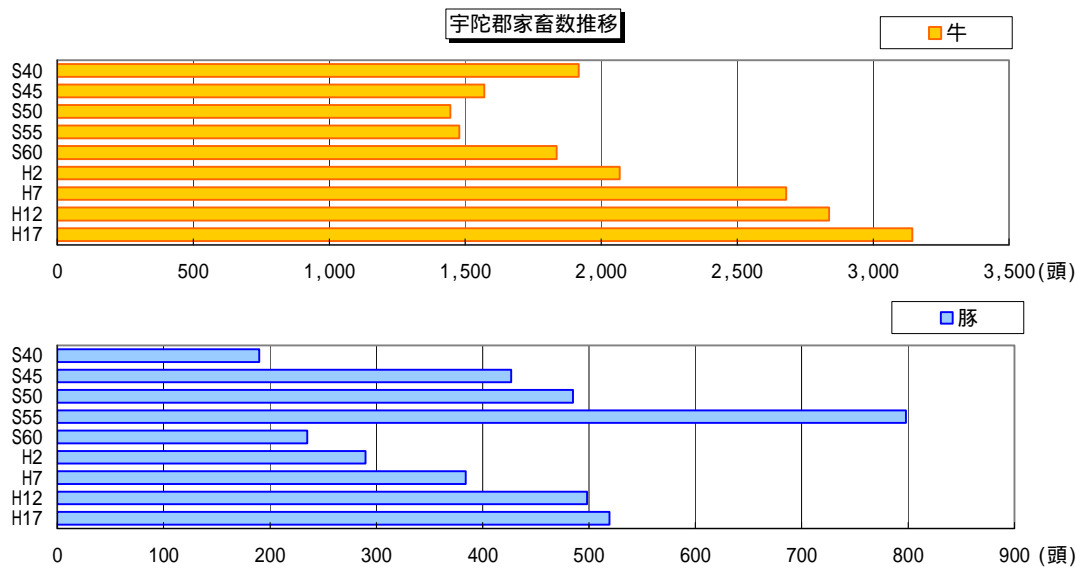
【出典:統計年鑑】

図 7.1.1-7 室生ダム流域内の用途別土地利用状況

(5)家畜飼養頭数

室生ダム流域関連市町村を含む宇陀郡の家畜飼養頭数を図 7.1.1-8に示す。牛は乳用牛と肉用牛の合計である。

流域では、肉用牛の飼養頭数が昭和 50 年以降、増加傾向であり、流域では平成 17 年には約 2,500 頭飼育されている。乳用牛は昭和 50 年から平成 2 年をピークにし、平成 7 年に減少し、その後 500 頭程度で横ばい傾向である。豚は 500 頭前後で変動している。



(単位：頭)

宇陀郡		S40	S45	S50	S55	S60	H2	H7	H12	H17
家畜頭数	牛	1918	1570	1445	1478	1836	2068	2680	2838	3144
	豚	190	427	485	798	235	290	384	498	519

図 7.1.1-8 宇陀郡家畜数推移

(6) 下水道等整備状況

昭和 49 年に多目的ダムとして完成した室生ダムは、宇陀川の中流部に位置し、県営水道の取水源になっている。しかし、ダム湖の水質は、閉鎖性水域であるため急速に悪化が進み深刻な問題となった。

奈良県では、公共用水域の保全と生活環境の改善を目指して、昭和 55 年に都市計画決定を行い、宇陀川の上流に当たる大宇陀町・菟田野町・榛原町の 3 町を対象とする宇陀川流域下水道事業に着手した。

宇陀川浄化センターは、当初から 1 系列目を高度処理のできる処理場として計画し、昭和 62 年 4 月より榛原町・菟田野町(平成 2 年)・大宇陀町(平成 3 年)と順次供用を開始した。

処理水の放流先が閉鎖性水域であることに鑑み、供用開始時から水処理は窒素・リンを除去できる A0 法で処理している。従って、処理能力は当初認可である標準活性汚泥法で 9,100m³/日であったが、生物反応槽の一部を暫定的に嫌気槽として使用しているため、好気槽の容量が減少して実質的な処理能力は 6,700m³/日となっている。

平成 16 年度より 2 系列目の水処理設備として A20 法(嫌気 - 無酸素 - 好気法)5,500m³/日の施設が稼働し、処理水中の窒素・リンをさらに多く除去することが可能となった。

処理能力は現在 12,200m³/日を有し、平成 17 年度平均流入下水量は 6,416m³/日である。

また、平成 18 年 1 月 1 日から大宇陀町・菟田野町・榛原町・室生村の 3 町 1 村の合併が行われ宇陀市となり、このことにより、将来的には流域下水道から公共下水道に移行することとなる。

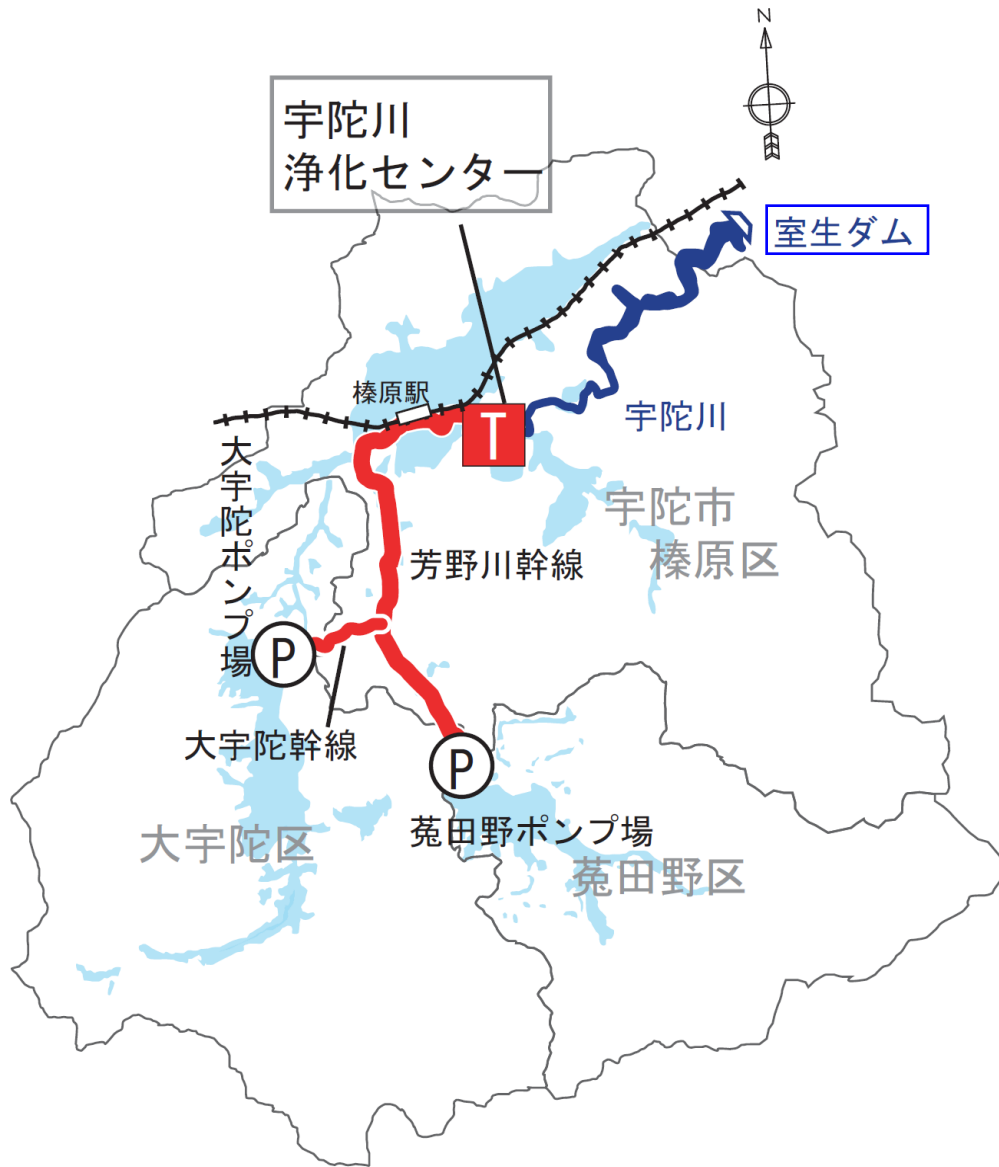
室生ダム流域内において、室生ダムの水質保全を目的として宇陀川流域下水道が昭和 55 年より整備開始され、昭和 62 年より供用が開始された。計画処理面積 10.25km²に対して平成 20 年度末で概ね 68.7%程度の進捗状況となっている。水洗化人口は約 17,904 人で、計画処理人口の 86.6%であり、公共下水道の水洗化率(水洗化人口/行政人口)は 56.8%である。宇陀川流域下水道の計画図を表 7.1.1-7 に示す。

表 7.1.1-7 宇陀川流域下水道の計画

	全体計画	事業認可	平成 20 年度末
処理面積 (ha)	1,025	803	704.2
処理人口 (人)	42,700	20,690	20,671
処理能力 日平均 (m ³ /日)	16,000	9,700	12,700
日最大	26,300	12,100	
時間最大	38,600	18,500	
排除方式	分流式	分流式	
処理方式	水処理方式 嫌気 - 無酸素 - 好気法(A ₂ O 法) +砂ろ過 汚泥処理方式 濃縮 - 消化 - 脱水 - 焼却	同左 (I系は標準活性汚泥法+砂ろ過) 汚泥処理方式 濃縮 - 脱水 - 焼却	
計画水質 mg/L			
流入水質			
BOD	186	189	
SS	175	180	
T-N	34	34	
T-P	4.0	4.1	
放流水質			
BOD	5	10	
T-N	10	19	
T-P	0.12	1.0	
対象市町村	供用市町村 宇陀市 大宇陀区、菟田野区、榛原区		
宇陀川浄化センター	〒633-0204 奈良県宇陀市榛原区福地 28-1 0745-82-5725		

一方、生活排水の下水道、農業集落排水及び合併処理浄化槽の処理合計人口の行政人口に対する汚水処理率を表 7.1.1-8、図 7.1.1-9に示す。

水源地域の汚水処理率は旧榛原町の下水道整備に始まり、近年は下水道に加えて、農業集落排水事業、合併処理浄化槽の設置による生活排水処理が高まり、現在 68.3%(平成 20 年度末)の汚水整備率になっている。



宇陀川流域下水道(宇陀川処理区)

図 7.1.1-9 事業計画区域図

表 7.1.1-8 污水处理施設普及の推移

年度	市町村名	住民基本台帳 人口 (人)	污水处理施設整備人口(人)				合計 (人)	整備率 (%)
			水洗化人口 公共下水道 (人)	農業集落排 水事業等 (人)	合併処理浄 化槽設置 (人)	コミュニティ プラント (人)		
S63年度末	大字陀町	-	-	-	-	-	-	
	菟田野町	-	-	-	-	-	-	
	榛原町	18,670	-	-	-	-	-	
	室生村	-	-	-	-	-	-	
	計	18,670	-	-	-	-	-	
H1年度末	大字陀町	10,159	-	-	-	-	-	
	菟田野町	5,448	-	-	-	-	-	
	榛原町	18,838	8,484	-	226	8,710	46.2	
	室生村	6,931	-	-	-	-	-	
	計	41,376	8,484	-	226	8,710	21.1	
H2年度末	大字陀町	10,027	-	-	-	-	-	
	菟田野町	5,463	176	-	-	176	3.2	
	榛原町	19,253	9,283	-	751	10,034	52.1	
	室生村	6,841	-	-	-	-	-	
	計	41,584	9,459	-	751	10,210	24.6	
H3年度末	大字陀町	9,968	333	-	-	333	3.3	
	菟田野町	5,411	337	-	-	337	6.2	
	榛原町	19,737	9,693	-	757	10,450	52.9	
	室生村	6,798	-	-	55	55	0.8	
	計	41,914	10,363	-	812	11,175	26.7	
H4年度末	大字陀町	9,857	725	-	-	725	7.4	
	菟田野町	5,385	425	-	-	425	7.9	
	榛原町	20,050	11,089	-	757	11,846	59.1	
	室生村	6,747	-	-	152	152	2.3	
	計	42,039	12,239	-	909	13,148	31.3	
H5年度末	大字陀町	9,792	1,167	-	-	1,167	11.9	
	菟田野町	5,282	795	-	-	795	15.1	
	榛原町	20,478	11,646	-	841	12,487	61.0	
	室生村	6,874	-	-	231	231	3.4	
	計	42,426	13,608	-	1,072	14,680	34.6	
H6年度末	大字陀町	9,694	1,381	-	-	1,381	14.2	
	菟田野町	5,256	624	-	-	624	11.9	
	榛原町	20,647	11,890	-	841	12,731	61.7	
	室生村	6,852	-	-	399	399	5.8	
	計	42,449	13,895	-	1,240	15,135	35.7	
H7年度末	大字陀町	9,657	1,901	-	-	1,901	19.7	
	菟田野町	5,242	658	-	31	689	13.1	
	榛原町	20,525	12,157	-	1,230	13,387	65.2	
	室生村	6,792	-	-	602	602	8.9	
	計	42,216	14,716	-	1,863	16,579	39.3	
H8年度末	大字陀町	9,547	2,278	-	-	2,278	23.9	
	菟田野町	5,196	734	-	90	824	15.9	
	榛原町	20,446	12,352	-	1,240	13,592	66.5	
	室生村	6,710	-	-	735	735	11.0	
	計	41,899	15,364	-	2,065	17,429	41.6	
H9年度末	大字陀町	9,399	2,607	-	-	2,607	27.7	
	菟田野町	5,303	756	-	169	925	17.4	
	榛原町	20,341	12,427	-	1,331	13,758	67.6	
	室生村	6,980	-	-	902	902	12.9	
	計	42,023	15,790	-	2,402	18,192	43.3	
H10年度末	大字陀町	9,474	2,935	-	60	2,995	31.6	
	菟田野町	5,252	1,019	-	205	1,224	23.3	
	榛原町	20,301	12,359	-	1,738	14,097	69.4	
	室生村	6,833	-	-	1,289	1,289	18.9	
	計	41,860	16,313	-	3,292	19,605	46.8	
H11年度末	大字陀町	9,266	3,955	-	156	4,111	44.4	
	菟田野町	5,093	1,057	-	397	1,454	28.5	
	榛原町	19,954	12,455	-	612	13,067	65.5	
	室生村	6,610	-	-	1,988	1,988	30.1	
	計	40,923	17,467	-	3,153	20,620	50.4	
H12年度末	大字陀町	9,160	3,128	-	308	3,436	37.5	
	菟田野町	5,020	1,118	-	418	1,536	30.6	
	榛原町	19,724	12,462	-	721	13,183	66.8	
	室生村	6,549	-	-	2,288	2,288	34.9	
	計	40,453	16,708	-	3,735	20,443	50.5	
H13年度末	大字陀町	9,052	3,400	-	428	3,828	42.3	
	菟田野町	4,975	1,319	-	467	1,786	35.9	
	榛原町	19,543	12,577	-	916	13,493	69.0	
	室生村	6,441	-	-	2,557	2,557	39.7	
	計	40,011	17,296	-	4,368	21,664	54.1	
H14年度末	大字陀町	8,949	3,573	-	546	4,119	46.0	
	菟田野町	4,923	1,440	-	467	1,907	38.7	
	榛原町	19,404	12,765	-	1,055	13,820	71.2	
	室生村	6,367	-	-	2,943	2,943	46.2	
	計	39,643	17,778	-	5,011	22,789	57.5	
H15年度末	大字陀町	8,800	3,601	-	636	4,237	48.1	
	菟田野町	4,903	1,473	-	475	1,948	39.7	
	榛原町	19,207	12,796	-	1,152	13,948	72.6	
	室生村	6,241	-	-	3,204	3,204	51.3	
	計	39,151	17,870	-	5,467	23,337	59.6	
H16年度末	大字陀町	8,703	3,698	-	692	4,390	50.4	
	菟田野町	4,837	1,506	-	645	2,151	44.5	
	榛原町	19,089	12,871	-	1,263	14,134	74.0	
	室生村	6,094	-	-	3,395	3,395	55.7	
	計	38,723	18,075	-	5,995	24,070	62.2	
H17年度末	宇陀市	38,295	17,924	-	6,288	24,212	63.2	
H18年度末	宇陀市	37,763	18,076	-	6,475	24,551	65.0	
H19年度末	宇陀市	37,062	18,004	-	6,714	24,718	66.7	
H20年度末	宇陀市	36,376	17,904	-	6,954	24,858	68.3	

宇陀市 汚水処理施設整備人口グラフ

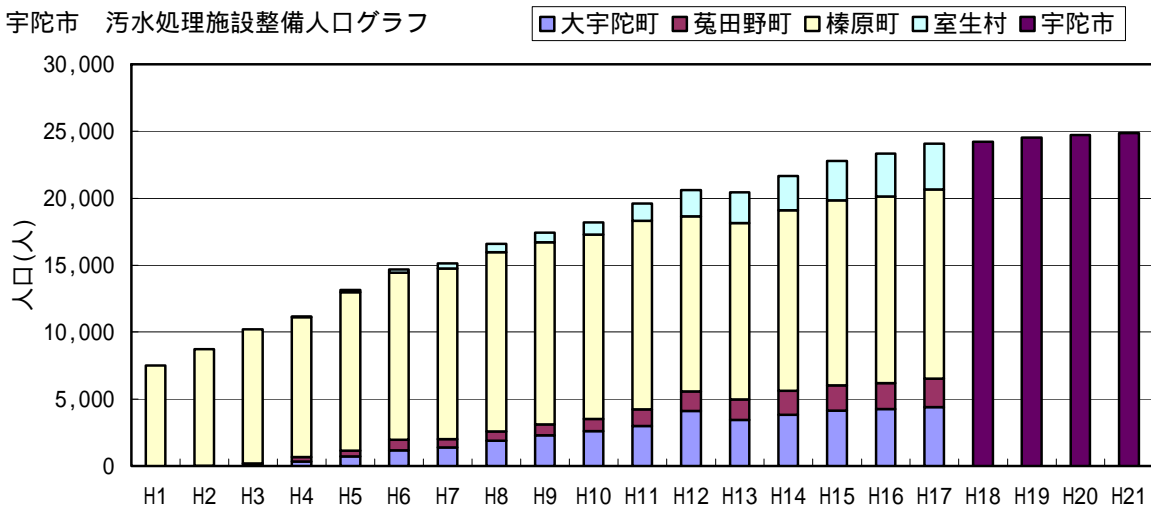


図 7.1.1-10 宇陀市汚水処理施設設備人口

宇陀市 住民基本台帳人口グラフ

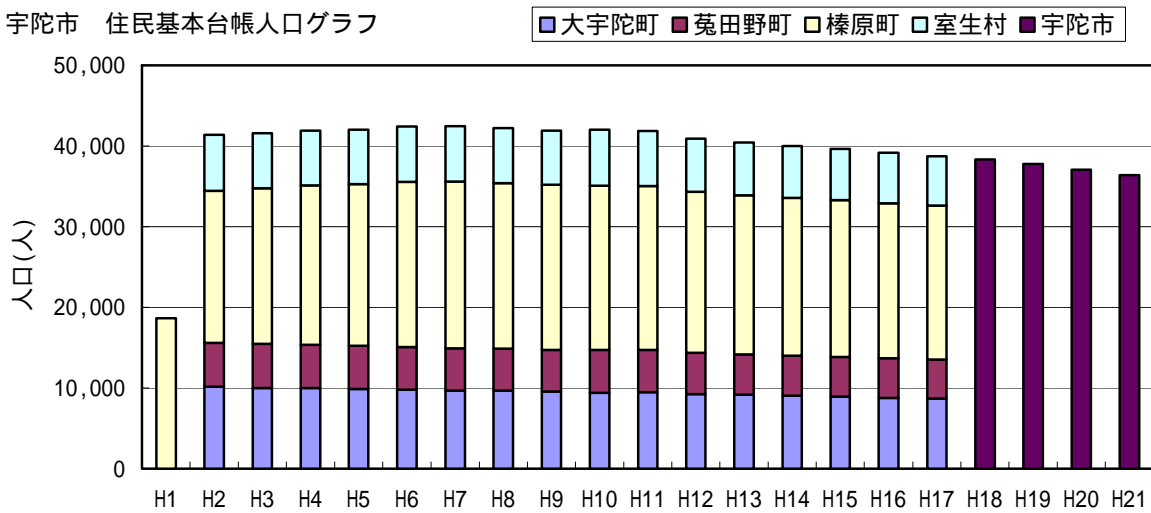


図 7.1.1-11 宇陀市住民基本台帳人口

7.1.2. ダムの立地特性

(1)ダムへのアクセス

1)道路

広域幹線道路としては、室生ダムの北約 8km に、大阪と名古屋を結ぶ名阪国道が東西方向に通過している。この名阪国道の針インターチェンジから室生ダム周辺には国道 369 号及び県道吉野室生寺針線が通過しており、約 30 分で到着できる。

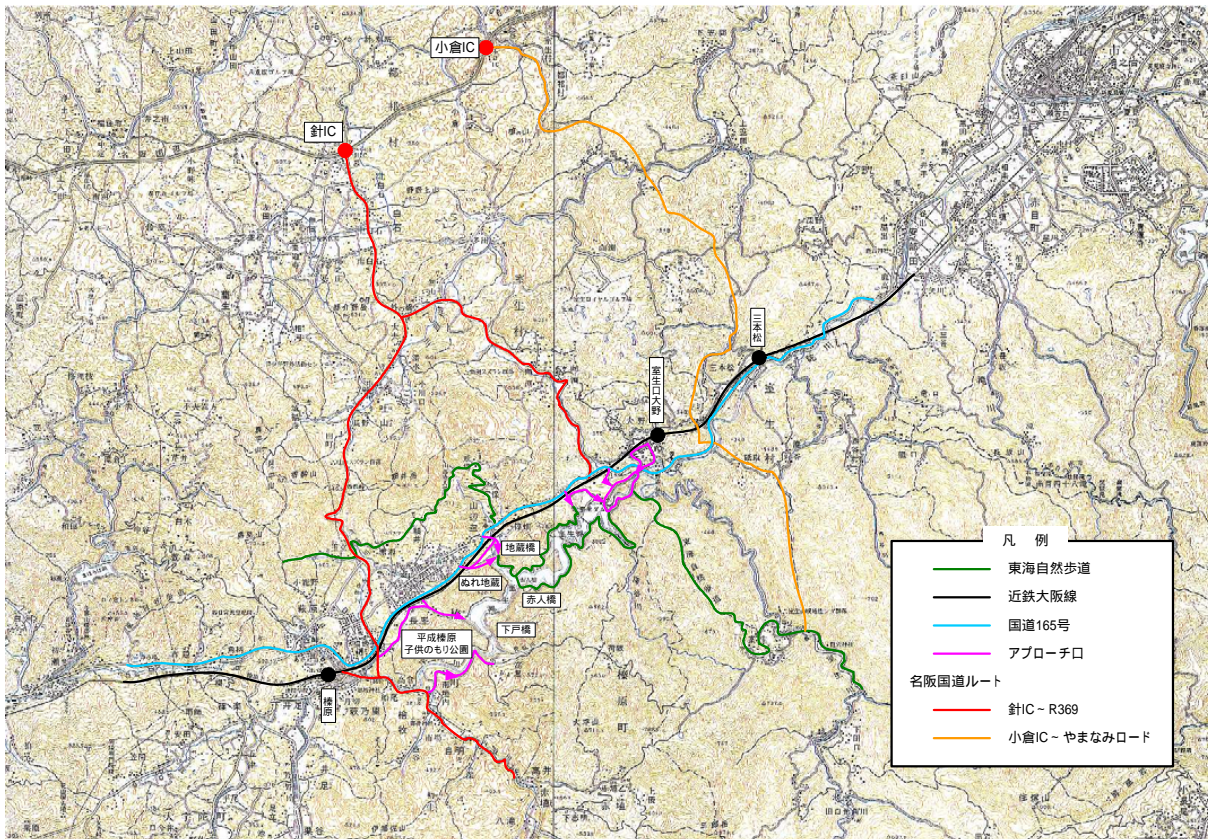
地域内道路としては、室生ダム貯水池の北側に、奈良県と三重県を結ぶ国道 165 号が東西方向に通過し、南北方向には国道 369 号が貫通している。これら国道は宇陀市榛原区の市街地付近で交差している。

2)鉄道

室生ダム貯水池の北側に、大阪と名古屋、伊勢・志摩を結ぶ近鉄大阪線が東西に通っており、室生ダムの東北約 1.5km の位置に室生ダムの最寄り駅となる室生口大野駅がある。

国道 165 号、並びに近鉄大阪線がダム湖のすぐ近くを通り、その結果大阪、奈良等の都市圏からのアクセスが非常に良いという特徴を持つ。さらに、名阪国道 小倉 IC から国道 165 号を経て、室生寺周辺までつなぐ奥宇陀広域農道(やまなみロード)が新たに開通し、よりアクセスが良くなった。また、榛原トンネルの開通により、369 号から子供のもり地区へのアクセスが良くなった。一方、ダムサイトから県民グラウンド、ぬく森の郷間の道路が整備され、室生口大野からダムサイト間左岸側における橋梁工事の完成後には、165 号からのアクセスがより良くなり、ダムサイトへのアクセスルートが増える。これらは、比較的短時間でダム湖へ到達することができ、この結果、半日あるいは一日という単位をレクリエーション活動等に費やすことができる環境を整えることが可能であるということを表している。

ダム湖のすぐ近くまで自家用車等でアプローチできるという利点は、自転車やカヌーという道具を運び入れることが可能であり、レクリエーション活動に多彩なメニューを提供できることでもある。また、平成 16 年 3 月には、近鉄大阪線榛原駅への特急停車が実現した。このことは、室生ダム周辺の散策やハイキング、あるいはサイクリング等利用の増進を期待させる。



【出典：室生ダム HP】

図 7.1.2-1 室生ダムへのアクセス

(2)ダム周辺の観光施設等

室生ダムが位置する宇陀川流域は、「国宝宇太水分神社」、「女人高野の室生寺」をはじめとする名所・旧跡・文化財などの豊富な歴史・景観的資源や自然資源に恵まれている。

室生ダム貯水池の周辺には、室生赤目青山国定公園、東海自然歩道も周囲に設定されている豊かな自然のある風向明媚な地域であり、行楽・観光に訪れる人々も多い。

【室生地区周辺】

天満神社、白鳥神社、大野寺、安産寺、大野海神社、龍口白山神社、西光寺、田口水分神社、室生寺、龍穴神社、不思木の森公園、道の駅「宇陀路室生」

【榛原地区周辺】

鳥見山公園、墨坂神社、戒長寺、ふねみの麻呂の墓、濡れ地藏、竜鎮・深谷渓谷、仏隆寺、高井の千本杉、山部赤人の墓、平成榛原子供のもり公園「ゆうゆう」、アクアグリーン榛原(室内温水プール)

【大宇陀地区周辺】

阿紀神社、大蔵寺、大願寺、徳源寺五輪塔、かぎろいの丘 万葉公園、多世代交流プラザ(大宇陀温泉あきののゆ)、道の駅「宇陀路大宇陀」、阿騎野・人麻呂公園、薬の館森野旧薬園

【菟田野地区周辺】

宇太水分神社、桜実神社、惣社水分神社、日張山青蓮寺、安楽寺廃寺跡、渋無樋、身がわり地藏



図 7.1.2-2 室生ダム流域及び周辺の主な観光施設等位置図

7.2. ダム事業と地域社会情勢の変遷

ダムによる直接的な影響として、補償に関する事項を整理した。

(1) 一般補償

ア) ダム関係

表 7.2-1(1) 一般補償(ダム関係)

(a) 土地買収関係調査

地区別	種別 町村別	宅地	宅地 見込地	田	畑	山林	合計	関係者数	筆数	摘要
		m ²	m ²	m ²	m ²	m ²	m ²			
水没地	室生村	61		3,041		285,501	288,603	39	108	島谷を含む 墓地は宅地に含む 竹林は山林に含む
	榛原村	16,888	67,122	99,272	56,170	483,042	722,494	120	684	
	小計	16,949	67,122	102,313	56,170	768,543	1,011,097	159	792	
道路等	室生村		(16,980)	1,259	211	106,305	107,775 (16,980)	74 (17)	116 (39)	上段()は代替宅造地
	榛原村	80	1,164 (16,980)		311	91,393	92,949 (16,980)	57 (17)	139 (39)	
	小計	80	1,164	1,259	523	197,698	200,724	131	255	
管理用地 施設用地			1,575	5,243		93,311	100,129	51	80	
合計		17,029	(16,980) 69,861	108,815	56,693	1,059,552	(16,980) 1,311,950	(17) 341	(39) 1,127	

(b) 水没戸数(榛原町) 19戸

(c) 地役権設定(上流端)

地目面積	
田	12,739m ²
山林	999m ²

イ) 初瀬水路関係

表 7.2-1(2) 一般補償(初瀬水路関係)

土地買収関係調査(初瀬水路関係)

種別	細別				合計	関係者数	筆数	摘 要
	宅地	宅地 見込地	田	山林				
取水塔用地など				2,795	2,795	3人	4	管理用道路含む
工事用道路	4	4,639	231	20,435	25,309	36	91	
合 計	4	4,639	231	23,230	28,104	39	95	

(2) 公共補償

ア) ダム関係

表 7.2-2 公共補償(ダム関係)

(a) 金銭補償

室生村	プール	2個所
	橋りょう(人道橋)	1基
	林 道	1,507m
	神社等	1件
榛原町	プール	2個所
	林 道	6,007m
	町 道	1,110m
	神社等	3件
奈良県	県 道	400m

(b) 補償工事

室生村	林道付替え	2,100m
	橋りょう(人道橋)	1基
榛原町	町道付替え	4,747m
	橋りょう	2基

イ) 初瀬水路関係

初瀬水路事業のずい道工事の進捗に伴い47年3月末ごろからずい道上およびその付近に存する飲雑用井戸および農業用水の減水および枯渇が生じ、その対策協議に連日地元へ回ったが、関係者と紛争に紛争を重ねたが、しかし、下記のとおりのお急および暫定処置を行った。

表 7.2-3 補償費総括表

工 種	種 別	細 別	室生ダム		初瀬水路		摘 要
			数 量	金 額	数 量	金 額	
一般補償				1,274,097		27,483	
	土 地		13,120 a	582,419	281 a	16,892	
		田	1,088 a	89,341		0	
		畑	567 a	34,979		0	
		山 林	10,596 a	268,896	232 a	6,084	
		宅 地	869 a	189,203	49 a	10,808	
	立 竹 木			378,285		10,020	
	建物工作物			171,291		214	
		家 屋		148,113		0	
		工 作 物		23,178		214	
	通常損失			142,102		357	
公共賠償				435,975		13,325	
特殊賠償				74,713		59,390	
諸 経 費				52,978		5,000	
	合 計			1,837,763		105,198	

表 7.2-4 水没者の状況(奈良県山辺郡山添村地内)

地区名		牛ヶ峰	腰越	津越	峰寺	大君	和田	合計
内 訳	戸数	7	5 (3)	3 (1)	17 (11)	7 (3)	9 (6)	48 (24)
	世帯数	6	4	1	7	4	8	30

(3)特殊補償

・漁業権 3件

漁業権とは鮎を主とする第5種共同漁業権で、ダムサイト付近に権利を有する三本松漁協と46年3月5日より交渉を開始し、本体工事の事前着工の了解を得て同年11月29日、榛原町に係る宇陀川漁協とは同年9月16日に妥結した。

名張市にかかる名張漁協は、ダム完成後の減水に対する補償を主張して譲らないため難航したが、名張市長の斡旋もあって48年3月に妥結した。

関係組合

宇陀川漁協同組合

組合長 小沢留造(正組合員 89名)

三本松漁業協同組合

組合長 飯田主美(正組合員 200名)

名張漁業協同組合

組合長 広岡保郎(正組合員 376名)

7.3. 地域とダム管理者の関わり

7.3.1. 地域におけるダムの位置づけに関する整理

室生ダムは宇陀川・名張川・木津川・淀川の「洪水調節」、奈良市及び山添村を潤す「新規利水」、および「流水の正常な機能の維持」の3つの目的をもつ多目的ダムである。

一方、近年においてはこのような従来の目的に加え、ダムを活かした水源地域の自立的・持続的な活性化を図り流域内の連携と交流によるバランスのとれた流域圏の発展を図ることが求められている。

このため、地域ごとにダム水源地の自治体等と共同し、ダムを活かした水源地域の自立的・持続的な活性化を図るための「水源地域ビジョン」を策定することとし、室生ダムでは地元住民や関係機関等が共同して「室生ダム水源地域ビジョン」を検討、平成14年度に策定された。「室生ダム水源地域ビジョン」の概要を以下に示す。

室生ダム水源地域ビジョンにおける、「室生ダム水源地域の特性」及び「地域の目指す方向性と室生ダムの位置づけ」は、次のとおりである。

表 7.3.1-1 室生ダム水源地域の特性

	地域の特徴や資源ポテンシャル	活性化に向けた課題点
水源地域全体	<ul style="list-style-type: none"> ・集客力のある歴史、文化資源 ・比較的高いアクセス利便性 ・豊かな自然環境 	<ul style="list-style-type: none"> ・室生ダム周辺施設と既存観光施設等との連携が不十分
室生ダム周辺地域	<ul style="list-style-type: none"> ・貯水池湖畔に整備された様々なレクリエーション施設 ・利活用に適した水質保全ダム貯水池 ・治水・利水面で広範囲の地域に貢献 ・地域内幹線道路からの比較的高いアクセス利便性 	<ul style="list-style-type: none"> ・新たな施設整備には適さない ・貯水池での湖面利用が困難 ・貯水池周辺の施設連携が困難 ・利用者の適切な誘導が不十分 ・室生ダムに関するPR不足

【室生ダム水源地域ビジョンより】

表 7.3.1-2 水源地域自治体の目指す方向性と室生ダムの位置づけ等

水源地域自治体の目指す方向性	室生ダムの位置づけ等
<p>室生村の目指す地域整備の方向</p> <ul style="list-style-type: none"> ・村づくりの目標： <ul style="list-style-type: none"> 『21世紀に向けての希望と愛着のもてる 明るく豊かな村づくり』 ・文化芸術活動による地域の活性化を目的にした「アートアルカディア計画」が策定、実施されている。 <p>榛原町の目指す地域整備の方向</p> <ul style="list-style-type: none"> ・テーマ： <ul style="list-style-type: none"> 『「高原文化のまち」はいばら』 <p>大宇陀町の目指す地域整備の方向</p> <ul style="list-style-type: none"> ・将来の都市像： <ul style="list-style-type: none"> 『歴史・自然を活用する 個性ある交流の町』 『生活の利便性が高く 潤いのある暮らしの町』 『ふれあい豊かな元気な町』 <p>菟田野町の目指す地域整備の方向</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まちづくりの目標： <ul style="list-style-type: none"> 『ぬくもりのあるもっと元気なまち 菟田野区』 <p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・室生ダム水源地域を含む1市3町3村で構成される桜井宇陀広域連合では、地域活性化に向けた「桜井宇陀ふるさと市町村圏計画」を策定している。 	<p>室生村における室生ダムの位置づけ等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「交流ゾーン」として、既存のスポーツ施設に加え、福祉・文化・観光・環境関連の各施設の整備が計画されている。 <p>榛原町における室生ダムの位置づけ等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「水辺のレクリエーションゾーン」として、平成榛原子供のもり公園の充実や、ダム湖を活かした親水空間づくりが示されている。

注) 1. 室生村、榛原町、菟田野町は大宇陀町を含めた町村合併により宇陀市となり、それぞれ同市室生区、榛原区、菟田野区、大宇陀区となっている。
2. 桜井宇陀広域連合は、前述の3町1村が宇陀市となったことにより、現在は2市2村(桜井市、宇陀市、曾爾村、御杖村)で運営されている。

【室生ダム水源地域ビジョンより】

7.3.2. 室生ダム水源地域ビジョン

(1) 概要

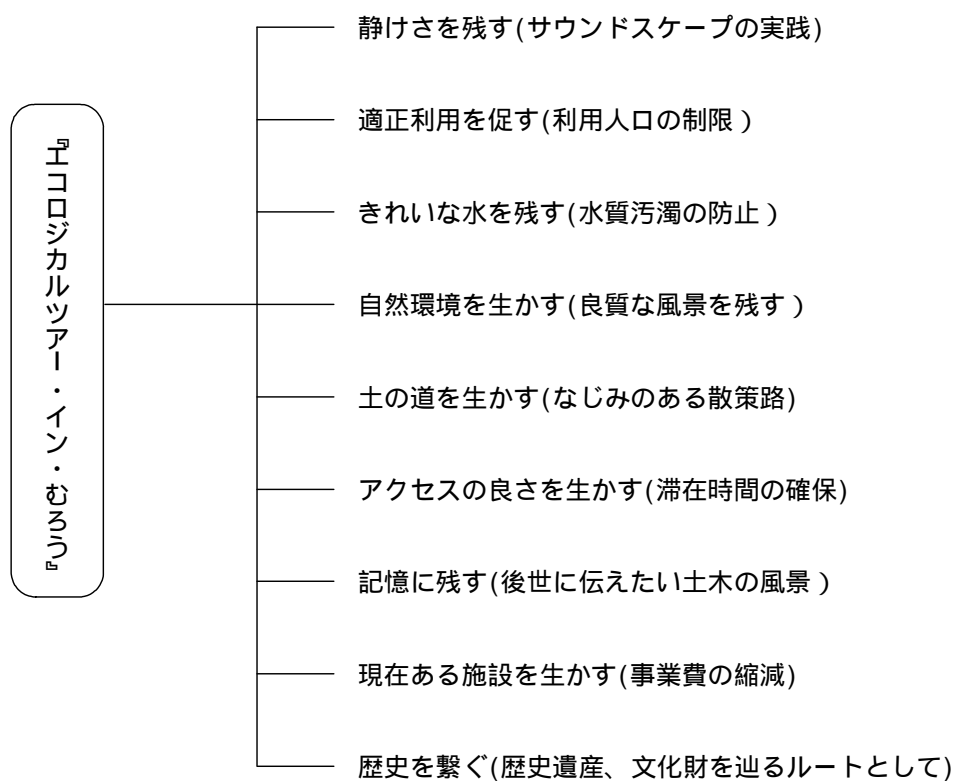
室生ダムでは、平成14年度に「室生ダム水源地域ビジョン」を策定し、水源地域の市町村と一体となった活性化への取り組み方針がまとめられた。

基本理念

基本理念は以下のとおりとする。

自然・歴史・都市を繋ぎ快適環境を育むレイクむろう

基本方針



動線計画

(1) 拠点、出発点としての機能強化

対象地区・拠点：
「ダムサイト下流地区」
「大野地区」
「子供のもり地区」

(2) 繋ぐ道 < 陸上の道 >

右岸:車、自転車、人、通過動線

自家用車等で上下流の地区(施設)を結ぶ。

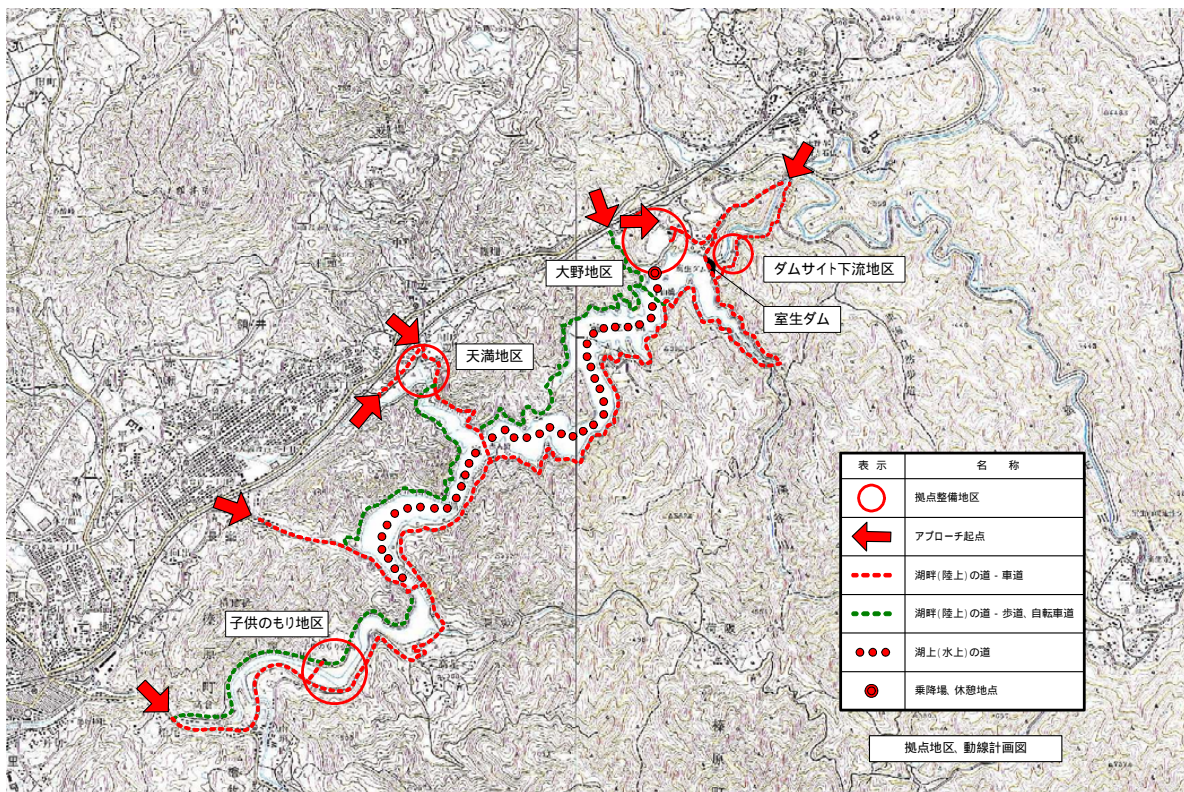
左岸:自転車、人

車を気にせずにゆっくりと、のんびりと走り、歩く。

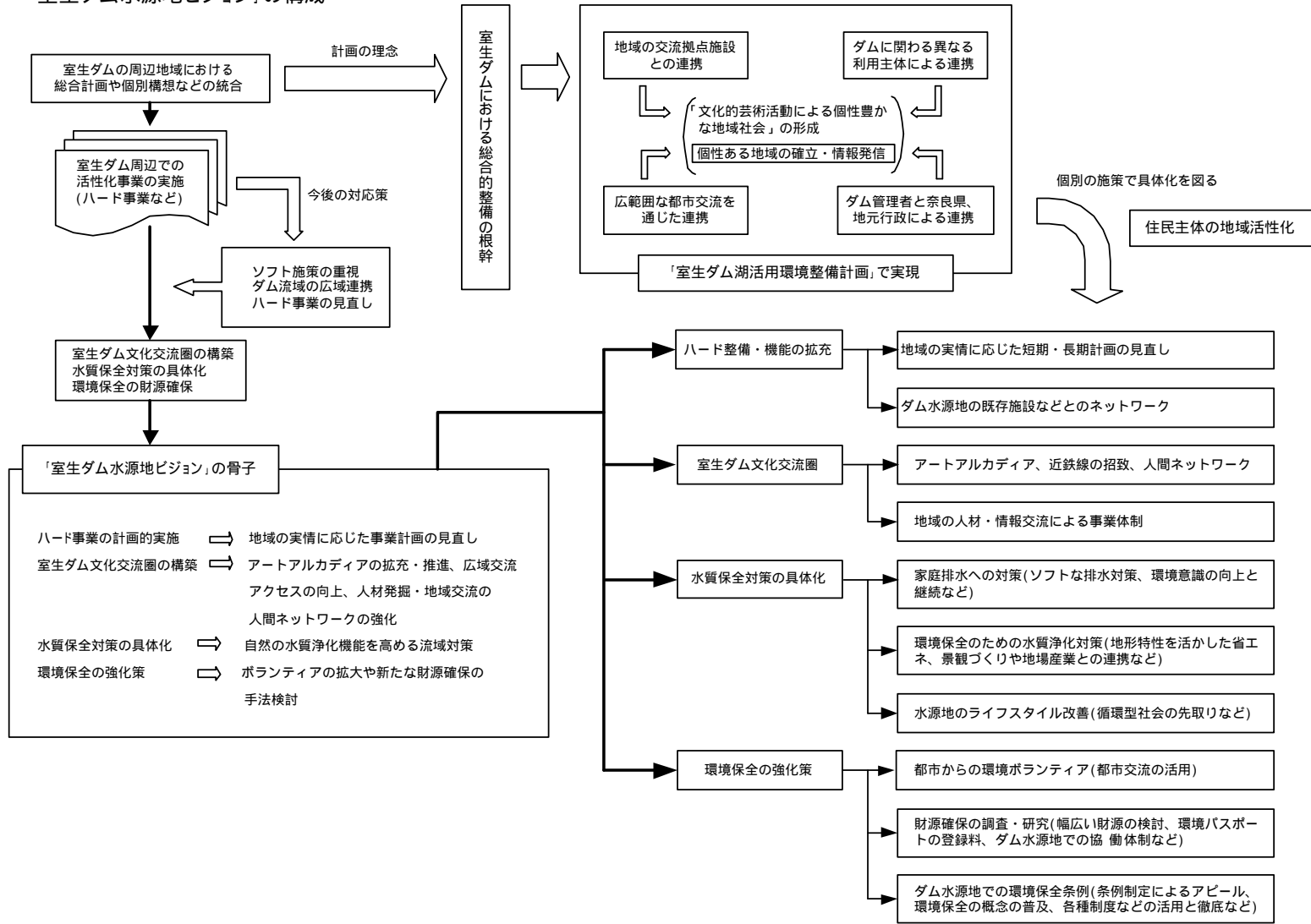
(3) 繋ぐ道 < 湖上の道 >

カヌーを用いて湖上を周遊する。

陸上からとは違った新しい視点から湖水や対岸風景を眺める。



「室生ダム水源地ビジョン」の構成



(2) 実行連絡会の実施状況

室生ダム水源地ビジョン実現に向けて、実行連絡会を毎年開催している。実行連絡会では、各団体の前年度の取り組み等の報告、及び当該年度のイベント等の実施予定、その意見の交換等が行われている。



【出典：平成 21 年度 木津川ダム年次報告書作成業務 報告書】

図 7.3.2-1 実行連絡会の開催風景

(3) 管理者の地域に向けた活動等

室生ダム管理所では、地域に対しダム見学会等を開催し、ダムの機能や地域におけるダムの役割等について説明を行った。

平成 20 年度の見学会等実施状況一覧は、表 7.3.2-1、図 7.3.2-2に示すとおりである。

表 7.3.2-1 平成 20 年度に見学会等実施状況一覧

開催日	団体名	人数等	説明内容
5月29日	平群町立平群南小学校	36	ダムの働きや仕組みについて知ってもらう。
8月5日	奈良県一般県民	75	ダムの働きや仕組みについて知ってもらう。
10月23日	布目ダム放流連絡会構成員	20	ダムの働きや仕組みについて知ってもらう。
11月18日	恩智川水防事務組合	37	ダムの働きや仕組みについて知ってもらう。
11月21日	奈良県河川整備委員会	11	ダムの働きや仕組みについて知ってもらう。
11月27日	奈良県河川整備委員会	9	ダムの働きや仕組みについて知ってもらう。
11月28日	奈良県河川整備委員会	12	ダムの働きや仕組みについて知ってもらう。

【出典：平成 21 年度 木津川ダム年次報告書作成業務 報告書】



図 7.3.2-2(1) 見学会の様子(平群町立平群南小学校)



図 7.3.2-2(2) 見学会の様子

7.4. ダム周辺の状況

7.4.1. ダム周辺環境整備事業の状況

室生ダムの周辺整備状況は、図 7.4.1-1、表 7.4.1-1に示すとおりである。



図 7.4.1-1 室生ダム流域及び周辺の主な観光等位置図

表 7.4.1-1 室生ダム流域及び周辺の主な観光施設

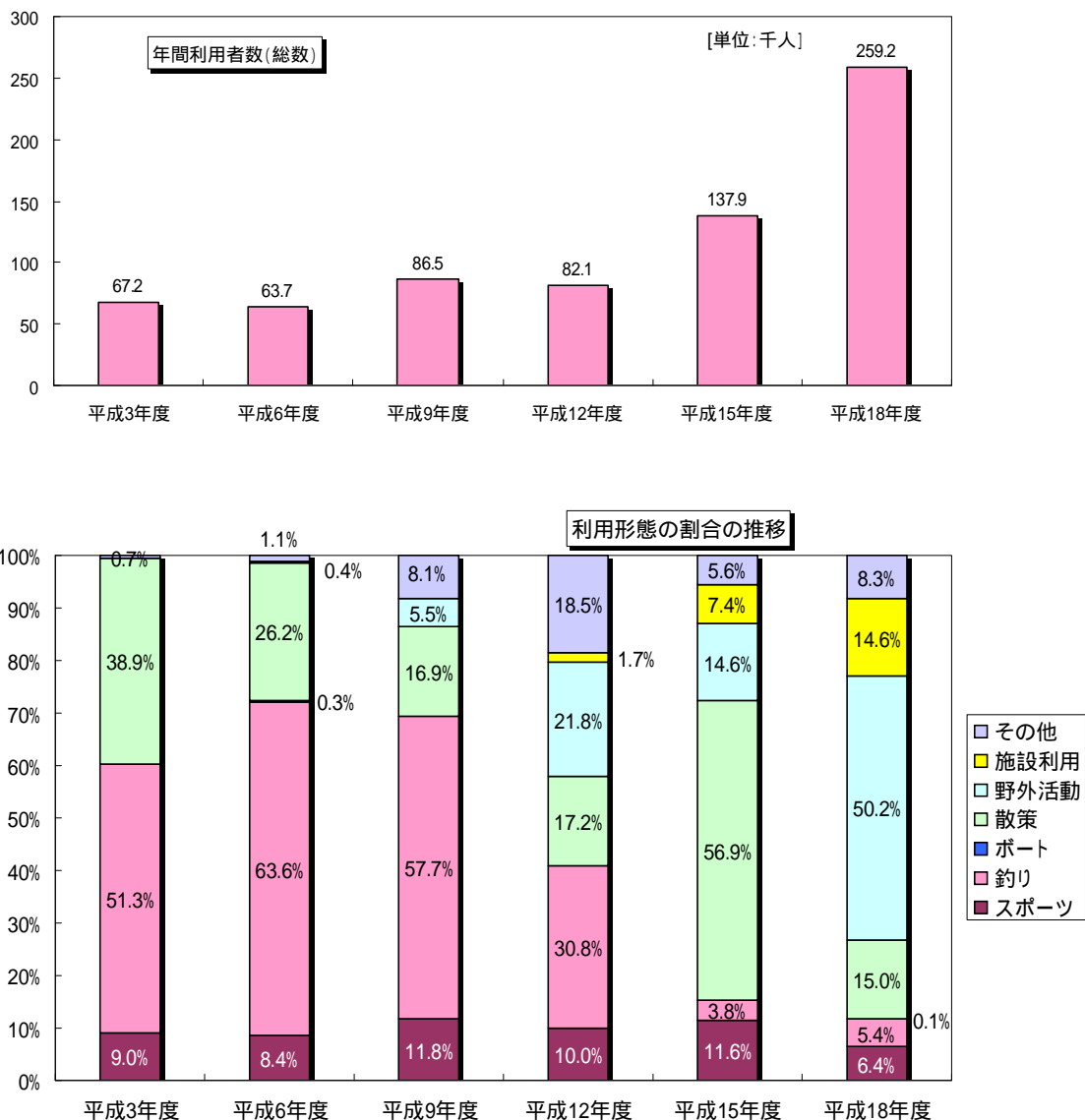
<p>不思木の森公園 室生ダム湖畔にある室生村健民グラウンドでは、野球、サッカー、テニスなどを楽しめる。ナイター施設も整備されている。</p>	
<p>室生農林トレーニングセンター 室生ダム湖畔にある室生農林トレーニングセンターでは、バレーボール、バスケットボールなどを楽しめる。</p>	
<p>室生ダム展望台 室生ダム管理所の正面に位置し、室生湖を展望する事ができる。また、東海遊歩道の沿線でもあることから、多くのハイカーが休憩所として利用している。</p>	
<p>平成榛原子供のもり公園 平成 13 年 4 月、室生ダムの貯水池湖畔にオープンした。この公園は、21 世紀を担っていく子供たちが健やかに成長していくための活動の場となり、また、野外活動やレクリエーションを通して大人と子供の世代間の交流が盛んに行える場となるよう、奈良県宇陀郡榛原町が整備したものである。</p>	

【出典：室生ダム HP】

7.4.2. 河川水辺の国勢調査(ダム湖利用実態調査編)の結果

室生ダム貯水池において実施された河川水辺の国勢調査(ダム湖利用実態調査)の調査結果の経年変化を図7.4.2-1に示す。

「平成18年度 河川水辺の国勢調査結果〔ダム湖版〕<ダム湖利用実態調査編>(平成20年3月)、国土交通省河川局河川環境課」によると、調査開始年の平成3年度から12年度までは6万5千人前後から8万5千人前後とゆるやかな増加傾向であった。その後、平成15年度約14万人で年間利用者数は10万人を超え、平成18年度約25万9千人であり、平成3年の調査開始以降では最も多かった。最も多い利用方法は「野外活動」であった。



H18.1.1 旧大宇陀町、旧菟田野町、旧榛原町、旧室生村が合併、「宇陀市」新設

【出典:河川水辺の国勢調査(ダム湖利用実態調査)結果】

図7.4.2-1 室生ダムの利用者の状況

【参考:ダム湖利用実態調査の調査方法及び年間利用者数の推計方法】

1.調査項目・調査時期

表-(1) 調査項目、目的および作成する様式

調査項目	目的	調査実施日等
利用者カウント調査	年間利用者数の推計に用いる基礎データ(サンプル日における利用者数)の収集。 あらかじめ設定した「ブロック区分 1」毎に調査を行った。	表-(2)に示す調査実施日(合計7日間)において実施。
利用者アンケート調査	ダム湖の利用目的、感想等の把握および年間利用者数の推計にあたっての基礎データの収集。	
イベント調査	ダム湖における利用者数の影響要因である各種イベントの開催状況および参加人数の把握。	平成15年3月1日から平成16年2月28日までの1年間における状況を聞き取り調査等により実施。
施設利用者数調査(H18のみ実施)	ダム湖周辺にある施設での日別利用者数の把握	平成15年3月1日から平成16年2月28日までの1年間において実施。

1 ブロック区分:利用者カウント調査において利用者数の集計を行う地理的単位です。基本的には、調査対象区域内の利用環境を踏まえて、調査対象区域を複数のエリアに分割

表-(2) 調査実施日一覧

番号	季節区分	平日休日区分	各年の調査実施日等	備考
1	春季	休日	4月29日(祝日)	ただし、参加人数100人以上のイベント、悪天候、施設の休館日と重なったときは、適宜直近の日で設定。
2			5月5日(祝日)	
3		平日	5月中旬の平日	
4	夏季	休日	7月最終日曜日	
5			平日	
6	秋季	休日	11月3日(祝日)	
7	冬季	休日	1月上旬の休日	

2.調査方法

(1)利用者カウント調査

- ・調査区域内の利用者数を現地で実測する方法である。
- ・利用者数は、設定したブロック毎に、時間帯別、性別、年齢別、利用区分別に人数をカウント。
- ・原則として、日の出から日没までの間に2時間毎で実施する。
- ・各調査時刻における観測値の合計を一日の利用者数とみなす。

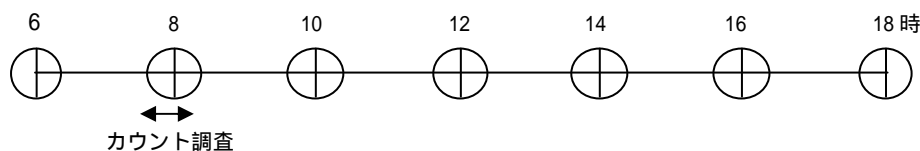


図-(1) 利用者カウント調査の実施間隔の考え方

(2)利用者アンケート調査

本調査は、利用者に対して直接質問し、回答を得ることにより実施。調査実施日は、利用者カウント調査実施日(7日間)とする。必要なアンケート対象者数(最少サンプル数)は、各調査実施日において20人以上を目標とした。

(3) イベント調査

本調査は、ダム管理者や施設の運営主体等から、調査区域内において開催されたイベントについて、聞き取りを行うことにより調査を実施した。

表-(3) 対象とするイベントの考え方

対象とするイベント等	
期 間	当該年3月から翌年2月の1年間に開催されたイベント等とした。
時 間 帯	対象とする時間帯は特に制限しない。
規 模	参加人数が概ね100人以上となるイベント等とした。
種 類 等	対象とするイベント等の種類や実施・運営主体等は特に制限しない。

3. 年間利用者数の推計方法

各季節別に実施した合計7回の調査(カウント)結果とイベント調査結果をもとに、ダム毎に1年間のダム湖利用者数の推計を行った。

年間のダム湖利用者数の推計に当たっては、季節、休日と平日の違いを考慮し、各季節の休日、土曜日、平日の利用者数(実測値を基本とする)を原単位とし、それに各季節の休日・土曜日・平日の日数を乗じた推計値にイベント調査結果を加えることにより、年間利用者数の推計を行った。

なお、平成9年度以前の調査については、イベント調査は行われていないため、上記のイベント人数の加算は行っていない。

【曜日係数】

H15まで:各季節の土曜日および秋季・冬季の平日については実測値がないため、平成4年度に行った補足調査結果より得られた全国平均の比率を乗じる(土曜日=0.37×休日、平日=0.18×休日)ことにより、原単位を求めた。

H18 :H15まで使用した曜日係数は平成4年に設定されたものであり、その間に休暇の取得等に関する社会的な考え方や制度が変化した可能性が考えられたため、H18に新しい曜日係数設定を目的とした追加調査を行った。結果、平成18年は、土曜係数=0.41、平日係数=0.22とされた。

表-(4) 年間利用者数の推定方法(例)

季節	曜日区分	調査日別利用者数(実測値)	原単位			日数			季節別利用者数(推計値)	イベント参加人数(実測値)	年間利用者数(推計値)
			休日	平日	土曜(*1)	休日	平日	土曜			
春季	休日1	2,305	3,118(*2)	219	1,154	16	65	11	76,813	437	160,629
	休日2	3,931									
	平日	219									
夏季	休日	1,826	1,826	530	676	15	64	13	70,093		
	平日	530									
秋季	休日	367	367	66(*3)	136	18	60	13	12,335		
冬季	休日	29	29	5(*3)	11	17	61	13	951		

*1:休日×0.41

*2:春季休日1と春季休日2の平均値

*3:休日×0.22

欠測した調査日については、利用者数を0とした。ただし、春季休日に関しては、休日1または休日2のいずれか一日を欠測した場合は、調査を実施した休日の値を春季休日の原単位とした。

【出典:平成18年度 河川水辺の国勢調査結果〔ダム湖版〕】

7.4.3. イベント等の実施状況

子供のもりゆうゆう夏祭り、こもれびまつり、阿騎野ふるさと祭りにおいて、室生ダム管理所としてパネル展示等を行い、来訪者にPRを実施した。

貯水池周辺道路においては休日のサイクリング等、多数の人に利用された。

貯水池内には、鯉、鮒等が生育し、年間を通じて多くの釣り客が訪れた。また、観光名所の室生寺、大野寺や東海自然歩道が付近にあり、ダムには多数の観光客が訪れた。

平成20年度の室生ダム周辺で実施されたイベントについて表7.4.3-1、図7.4.3-1に示す。

表 7.4.3-1 室生ダム周辺で実施されたイベント(平成20年度 開催実績)

開催期間	行事等名	開催場所	主催者	参加人数	活動内容
4月6日	清掃活動	室生ダム管理所 周辺	「I Love 宇陀川」 連絡会	9名	室生ダム左右岸広場、堤頂道路清掃
5月17日	堆肥配布	室生ダム下流右岸	室生ダム管理所	40名	刈草の堆肥を一般住民に配布(平成18年度の残分)
5月18日	環境学習会	道の駅 「宇陀路室生」	NPO 法人地域と自然	6名	宇陀川の水生物と水辺の植物観察
8月6日	施設見学会	室生ダム管理所	室生ダム管理所	24名	「第1回室生ダム施設見学会」を実施し、ダムの働きや仕組みについて知ってもらう。(堤体内、操作室の見学、体験乗船等)
8月15日	阿騎野ふるさと夏祭り	大宇陀ふれあい交流ドーム	宇陀市	多数	「阿騎野ふるさと祭り」の会場にて、ビデオ広報、パネル展示等でダムの働きや仕組みについて知ってもらう。
9月14日	子供のもりゆうゆう祭り	子供のもり公園	宇陀市	17名	「子供のもりゆうゆう祭り」にて、パネル展示等でダムの働きや仕組みについて知ってもらう
11月1日	堆肥配布	室生ダム管理所 右岸	室生ダム管理所	48名	刈草の堆肥を一般住民に配布(平成19年度分)
11月9日	こもれびまつり	道の駅 「宇陀路室生」	(有)室生村ふるさとセンター	多数	「こもれびまつり」(室生区)会場にて、パンフレット配布でダムの働きや仕組みについて知ってもらう。
11月9日	清掃活動	室生ダム管理所 周辺	「I Love 宇陀川」 連絡会	10名	室生ダム左右岸広場、堤頂道路他清掃
3月27日	清掃活動	室生ダム管理所 周辺	水源地域ビジョン 実行連絡会	24名	室生ダム周辺道路の清掃活動

【出典：平成21年度 木津川ダム年次報告書作成業務 報告書】



ゆうゆう祭り



見学会の様子(平群町立平群南小学校)

図 7.4.3-1 室生ダム周辺で実施されたイベントの様様

7.5. まとめ(案)

- 室生ダム周辺には、観光名所の室生寺や大野寺等の史跡があり、また室生赤目青山国定公園、東海自然歩道に指定されているなど風光明媚な地域であり、散策、ハイキング、サイクリング等、多数の観光客が訪れている。
- 室生ダム上流端には宇陀市により「平成榛原子供のもり公園」が整備され、近年多くの人々が訪れている。
- ダム施設見学会を水資源機構が主体となって定期的を開催している。
- 平成14年度に水源地域ビジョンを策定し、地域住民等とダム管理者が一体となって「子供のもりゆうゆう祭り」等のイベントを継続的に行っている。

〈 今後の方針 〉

ダム管理者として、ダム周辺施設を活かした活動、イベント等に積極的に取り組むとともに、水源地域ビジョンの基本方針に基づき今後も引き続き、関係自治体・地元・NPOなどと共に活動を推進していく。

7.6. 文献・資料リストの作成

「7. 水源地域動態」に使用した文献・資料リスト

No.	文献・資料名	発行者	発行年月	備考
7-1	室生ダム水源地域ビジョン	室生ダム水源地域ビジョン策定会議		
7-2	室生ダム管理所ホームページ http://www.water.go.jp/kansai/kizugawa/index_n.htm			インターネットホームページ
7-3	平成15年度 河川水辺の国勢調査結果 〔ダム湖版〕(ダム湖利用実態調査編)	国土交通省河川局河川環境課	平成16年10月	
7-4	平成18年度 室生ダム河川水辺の国勢調査結果 〔ダム湖版〕(ダム湖利用実態調査編)	木津川ダム総合管理所	平成18年度	
7-5	水源地域市町村の概況 －第5回水源地域センサス結果－	国土交通省河川局河川環境課 流水管理室	平成16年3月	
7-6	全国市町村要覧平成18年度版	市町村自治研究会	平成18年10月25日	
7-7	全国市町村要覧平成13年度版	市町村自治研究会	平成13年11月5日	
7-8	全国市町村要覧平成8年度版	市町村自治研究会	平成8年10月15日	
7-9	昭和40年から平成12年までの 市町村毎の産業別就業者数	総務省統計局 (統計図書館より) データ		
7-10	平成の大合併 日本全国	(株)ゼンリン	平成18年3月	